

人材育成委員会

8月7日  
本部会議室  
出席委員等10人

日程、講演内容決まる

「女性活躍推進フォーラム」

9月11日に第1回が開かれる「女性活躍推進フォーラム」のタイムテーブル等の概要を確認した。フォーラムは9月11日、11月13日、来年2月10日の3回開く。参加する女性社員は1社から1人、計30人程度にし、3回連続して参加で



女性活躍推進フォーラムの概要を確認した人材育成委員会

きることを前提に募集する。場所は東京・日本橋の三洋グループビル会議室。フォーラムの内容は、講演、グループディスカッション、女性先輩社員による経験講演、人材づくりのための懇親会等で、最終回のフォーラムでプレゼンテーションを行う。

各回の講演は、「接遇検定合格サ

依存問題PT

8月6日  
本部会議室  
出席委員等6人

シナリオ内容を検討

2部構成の「依存G.L」DVD

遊技産業活性化委員会の依存（のめり込み）問題WG（ワーキンググループ）を兼ね、全日遊連、日電協、全商協、回胴遊商からもオブザーバーとして5人が参加した。

3月にパチンコ・パチスロ産業21世紀会で承認された「パチンコ店における依存（のめり込み）問題対応ガイドライン」を、ホールの

ポット&ビジネスシーンに合わせた印象度アップセミナー」（9月11日）、「売上をアップするための色彩心理セミナー」（11月13日）、「販促、広告制作のワークショップセミナー」（来年2月10日）がそれぞれ予定されている。

店長・管理職能力開発講習の講座テキストを来年4月から改訂することになり、内容を検討した。現在のテキストはホール以外の管理職も対象にして幅広い内容になっているが、参加者が基本的にホール関係者なので、ホールを主軸にした内容に変更する。

従業員向け研修テキストとしてDVD化するため、事務局からたたき台として提出されたシナリオを検討した。

内容は2部構成で、各部30分見当。第1部はガイドラインの概要で、依存についてリカバリーサポート・ネットワーク（RSN）の西村直之代表理事が、ガイドライン



ガイドラインDVDのシナリオを検討した依存問題PT

について安藤博文依存問題PTリーダーがそれぞれ解説する。第2部は依存の相談事例とお客様対応例で、西村代表理事がRSNの紹介、安藤リーダーがホール現場でのお客様対応について説明する。単調さを避けるため、ロールプレイング映像を挿入したいとしている。さらに内容を詰め、早ければ8月中に制作会社との打ち合わせに入る予定。

## ファン雑誌と情報交換会

## 「依存」など意見交わす

## 広報調査委が3社招き開催

広報調査委員会が主催する「ファン雑誌・WEB情報交換会」が8月1日、日遊協本部会議室で開かれ、ファン雑誌3社6人と委員10人が出席した。

それぞれ自己紹介のあと、福山裕治委員長は「暑い中、ファン雑誌の方々がお集まりくださりありがとうございます。テーマは設定されておりませんが、ざっくりばらんな情報交換の場にしていただきたい。その中からお互いに役立つものが出てくれば幸いです」とあいさつした。

## お金に対する感覚が

最初に事務局から、依存問題に対する日遊協の取り組み、特に「依存（のめり込み）問題対応ガイドライン」について説明し、雑誌側の意見を求めた。「依存している人が536万人もいるとは思えない。自己診断表を試してみると、確かにそういうことがあるかなとチェックしてしまう。それで依存とは決めつけすぎではないか」「実際に



依存問題などを意見交換したファン雑誌との懇談会

プレーする人たちのお金の感覚は、確かに一般の人と違うところがある。その辺が依存につながるのではないか」「依存重度の人がむしろ表に出ないケースがあるのでは」

## 個性楽しめる機械を

遊技機と遊技の在り方によって依存を防ぐことが出来るとする意見として「1台1台個性を楽しめる機械を作り、ゲームとしての楽しさを分かってもらえばのめり込みにくいはず」「遊技機に対する正確な、識を持ってチャレンジしてもらえば、あまり引きずられなくてすむ。研究の面白さがギャンプルとは違う」などが出された。「現在の機械が、勝つ確率さえ体感できないところに問題がある」との指摘もあった。

新遊パチの名称などについて協議した後、WEBとの「情報交換会」を9月中旬に開き、ファン雑誌との次回は来年の早い段階とすることを確認した。

## 【ファン雑誌出席者】

## ▽辰巳出版

金森寛康 パチスロ必勝本編集部長

森岡良治 パチンコ必勝本編集長

## ▽(株)プラントピア

近藤泰典 P攻略マガジン編集長

飯田真二 S攻略マガジン編集長

## ▽(株)ガイドワークス

松丸仁 取締役営業部長

福井理 第1編集部副部長

## 貯玉補償基金理事会・臨時社員総会

## 伊坂重憲氏が理事就任

一般社団法人貯玉補償基金（代表理事・庄司孝輝日遊協会長）は

8月5日、日遊協本部会議室で第64回理事会を開き4議案を審議した。

第1号議案は社員入社の件で、伊坂重憲全日遊連副理事長の入社を承認した。第2号議案の社員総会議長の代行順序、第3号議案の

理事会議長の代行順序について、それぞれ第1順位堀内文隆理事、第2順位白石良二理事とすることを決めた。第4号議案の補償適用申請審査委員会委員について、堤義成理事、堀内文隆理事を指名した。貯玉補償基金加盟状況、資産運用状況、貯メダル・再プレー実施状況などについて報告が行われた。

引き続き第10期臨時社員総会が開かれ、入社した伊坂重憲全日遊連副理事長を理事に選任した。

7月16日に日遊協専務理事を退任した篠原弘志氏の貯玉補償基金理事退任を了承した。なお、篠原氏はジャパンネットワークシステムズの最高顧問に就任したので、次回理事会から事務局の一員として出席する。